

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	育てたい資質・能力	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点 プレゼン教育・自己実現教育・キャリア教育・ICT教育	⑤安全・安心で快適な学校環境の整備 ④DXをとり入れた教育の推進 ③学校・地域・関係団体等との協働による郷土教育の推進 ②こどもの自己実現を支える教育の推進 ①豊かな心、健やかな体、確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進	豊かな人間性の基礎を培う	仲間とともに乗り越える力を育む（主体性・挑戦意欲）	深い学びの授業づくり	① 児童が楽しいと感じる授業	1)授業が楽しい 児87% 保88% 児童アンケート95%以上 保護者アンケート85%以上	B	○グループやペア交流での話し合いが自然とできるようになり、考える力、仲間と深める力がついてきた。 ○ICTの活用は、どの学年でもできている。メタモジを使った授業のほかに、「総合的な学習の時間」でもブレゼン等で活用ができた。 ・「どんな授業が楽しいと感じるか」を職員で共有し、児童の主体性や興味を引き出す工夫を今後も続ける。 ・話し合い活動では、自分の考えを仲間に伝えたいと思う場を引き続き設定していく。 ・学習内容に応じて、終末の評価の在り方をさらに検証していく。
					① 主体的・対話的で深い学びの授業づくり	1)進んで話し合いに参加 児童アンケート90%以上 児91%	B	
						2)自分の考えを伝えることができる 児童アンケート90%以上 児84%	B	
						3)教科の見方・考え方を働かせる指導の工夫・改善 職員アンケート90%以上 職76%	B	
						4)ICTの有効な活用方法を考えた指導 児童アンケート95%・保護者アンケート 87%・職員アンケート95%以上 児98% 保94% 職86%	A	
						5)できるようになったことの見届け・評価 児90% 職75% 児童アンケート95%以上 職員アンケート90%以上	B	
				挑戦する生活づくり	② 自己実現の喜びを味わわせるための、自己決定の場や機会の保証	1)学級目標の具現に向かい、一人ひとりがどんな貢献をするかを自己決定してやりたい自分につなげる 児90% 職77% 児童アンケート91%以上 職員アンケート90%以上	B	○「よさみつけ」や児童会の「ありがとうを伝えたい」を通して自己肯定感や有用感が向上し、「なりたい自分」の実現につながった。 ○SCにSOSの出し方の授業をしてもらったり、担任からマイサポーターへつないだりして不安や困りごとを抱えこまない指導ができた。 ○「居場所づくり」として校内支援センターの活用を行い、不登校傾向を示す児童に組織で対応することができた。 ・ケース会議や児童理解研は、常に指導のゴールを明確にすることを継続する。 ・「なりたい自分」や学級目標の振り返りが、次の目標に活かせるようにさらに指導改善をしていく。
						2)自分の役割を精一杯果たす一人一役 児97% 児童アンケート98%以上	A	
					② 共感的な人間関係を育てる委員会、行事、はなのき活動	1)互いのよさも弱さも認め合い、「なりたい自分」に向けた努力を共感的に受け止める集団を育て、個々に自己存在感をもたせる指導 児童アンケート95%以上 職員アンケート80%以上 児89% 職78%	B	
					② 命と人権教育、特別支援教育の充実	1)SOSの出し方やマイサポーターへ相談できる指導	B	
						2)要支援児童、不登校傾向児童への組織的対応 居場所と絆づくり 気軽に相談できる教育相談 保護者アンケート90%以上 保90%	A	
				はなのき活動とチーム花里	③ 特色ある教育活動「はなのき活動」の推進	1)ふるさとへの愛着と誇りを高め、豊かな人間性の基礎を培う(温かな空気の流れを醸し出す教育) 2)地域・人から学び、持続可能な社会の実現への願いを大切に活動と愛校心を育てる活動を推進する	B	○地域の高校生(高山工業高校・西高校)から学び、憧れをもつことができた。 ○「はなのき活動」(はなのき太鼓・花里獅子・長寿会交流・動画づくり)を通じて故郷への愛着を高め、温かい雰囲気醸し出した。 ○教育支援ルームの活用など、誰にとっても居心地の良い学校づくりができた。 ・いじめや不登校傾向の児童に関わり報告・連絡・相談を確実に素早く行うことを継続する。 ・学年の発達段階に応じ、情報モラル教育をさらに推進する。
					③ ④ 安心安全な環境づくり	1)情報モラル教育の充実(眠育につなげて) 2)校内、通学路点検等の徹底と安全確保への即時対応 3)居場所づくり・いじめ未然防止プログラムの推進 4)「命を守る訓練」を通しての意識啓発と対応力の育成	A	
					③ ④ 報・連・相を確実にし、チームで教育を推進する(チーム花里小)	1)常に学び続ける教職員 2)子どもとともに挑戦する教師 子どもの良さを見逃さず価値づける教師・高い危機管理意識を持った教師	A	

学校運営協議会における主な評価内容

- ・子どもたちが落ち着いており、先生方が温かく見守っている。
- ・小中連携はもちろん、保育園でも学校につながる保育をめざして行っている。(例:選択できる遊び、サークルタイム)
- ・児童の言うことを否定せずに、対話をする機会をつくっている。
- ・朝はしゅんぼり登校している児童が、元気に発表している姿を見て学校の居心地の良さを感じた。